



台風に備え対策を！

例年6月以降に台風の発生数が増加し、8月・9月に発生数および接近数がピークを迎えます。台風に伴う土砂災害や水害、道路の寸断等が起こります。

天候の変化に注意して、事前準備で自然災害に備えましょう。

事前対策

1. 畜舎の損傷、倒壊の恐れのあるところは修繕を行う。
2. 畜舎の窓や扉はしっかり固定し、防風・防雨対策を実施する。
3. 特に山間部では道路の寸断に備え、資材・飼料等は余裕をもって準備する。
4. 断水に備え給水タンクの確保、非常用電源（発電機等）の手配および試運転を行う。
5. 場合に応じて、放牧牛を畜舎へ連れ戻す。



事後対策

1. 敷料が濡れた場合は、速やかに乾いたものと交換する。
2. 天候が回復したら、畜舎内・畜舎周辺の排水、消毒を行う。
3. 畜舎、牧柵、防鳥ネット等に破損、汚染がないか確認し、必要があれば補修、洗浄、消毒を行う。
4. 山水や井戸水を使用している場合は、飲水に適した水質の確認を行う。
5. 台風通過後は、気温や湿度の上昇を伴うことがあるので、暑熱対策および換気を行う。

家畜に異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします
飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL: 0577-33-1111（内線403） FAX: 0577-32-9019

※閉庁時には「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」
の案内メッセージに従って対応をお願いします。